

第21回 奥むさし駅伝競走大会

【出場結果】

実施日	:	1月29日(日)	9:00	スタート
コース	:	東飯能駅西口前～西吾野駅前折返し～飯能市内銀座通り(きもの処かきぬま前)		
総距離	:	6区間	38.8	km
成績	:	1時間59分24秒	5/99	位
出場者・リザルト	:	1区9.9km	小林 航央	11/99位 30'27"
		2区5.5km	坪井 響己	6/99位 17'01"
		3区4.3km	田中 龍誠	5/99位 13'20"
		4区4.5km	関口 大樹	9/99位 13'31"
		5区5.2km	西沢 晃祐	15/99位 16'25"
		6区9.4km	親崎 達朗	6/99位 28'40"

【レポート】

3年振りの開催となった奥むさし駅伝競走大会が埼玉県飯能市で開催されました。

埼玉県飯能市は、1949年に当社の飯能工場が設立されてから朝霞事業所に移転するまで実に70年以上もの間、地元として、そして現在も多くの当社従業員が住む愛着のある場所です。

ゆかりのある飯能市でのレースという事もあり、11月の東日本実業団駅伝後は目標を奥むさし駅伝に切り替え、選手達はコンディションを整えてきましたが、直前に体調不良者や故障者が出てしまい、ギリギリのメンバーで出場することを余儀なくされたため、狙っていた優勝からは、目標を修正せざるを得ず、一般の部5位以内を目標としてレースに臨みました。



一般の部、高校の部、地区対抗の部が一斉にスタート

大会直前の寒波の影響で天候が心配されましたが、当日はほぼ無風の中、日差しも注ぎ、選手達には絶好のコンディションの中でレースがスタートしました。

1区には5000m13分台の自己記録を持つ小林を起用し、数週間前に体調を崩した影響もあり、先頭集団からは離れた位置でレースを進めましたが、中盤以降はペースを取り戻し、区間11位で2区の坪井に襷を渡しました。



1区 小林

2区を任された坪井は序盤からハイペースで入った影響から、後半の上り坂で少し苦しい走りとなりましたが、終盤を持ち堪え、順位を7位に上げて区間6位で3区の田中に襷を渡しました。

3区は厳しい上り坂が続く区間ですが、上りの得意な田中は軽快なピッチを刻み、順位を5位に上げる区間4位で4区の関口に襷を渡しました。

4区は下り基調のコースという事もあり、関口は序盤からハイペースでレースを進めましたが、中盤以降は動きが鈍り、順位を6位に下げて5区の西沢に襷を渡しました。

5区を任された西沢は故障の影響もあり、満足な練習が出来ていない中、襷をアンカーの親崎に託すため必死に走り切り、区間15位ながら順位を落とすことなく6位で6区の親崎へ。

6区アンカーを任された親崎は、5位入賞を目指して40秒前にスタートした5位のチームを追い、徐々に差を詰めて終盤で追い抜き、最後までペースを落とすことなく5位入賞でのゴールとなりました。

ShinDengen /



2区 坪井



4区 関口 → 5区 西沢



6区 親崎



早朝から現地でのご声援を頂きました、多くの皆さまへ感謝申し上げます！

【総括】

今回、駅伝に出場するにあたり体調不良者や故障気味の選手が続出してしまい、一時は欠場も頭をよぎりましたが、直前まで選手達のコンディションを見極め、奥むさし駅伝の翌週に予定していた埼玉県駅伝の出場を諦め、奥むさし駅伝1本に絞る決断をして大会に臨みました。

本来の調子とは程遠い選手もいる中で、選手達は必死に最後まで襷を繋ぎ、下方修正した目標ではあるものの、一般の部5位でゴールする事が出来ました。

少数精鋭のチーム構成であり、体調不良者や故障者を出すことは今後も致命傷となりますので、あらためてチーム内での体調管理を徹底し、来年こそ駅伝での結果をもって、ご声援頂いている皆さまへ恩返しが出来ればと考えております。

最後になりますが、早朝から沿道に駆け付けて頂き、ご声援を頂きました、鈴木社長をはじめとする役員の皆様、会社関係者の皆様、本大会の役員としてご尽力頂いた会社関係者の皆様に、あらためましてチーム一同、御礼申し上げます。

以上

写真提供：新電元工業株式会社

坂本千夏様、佐藤圭一様